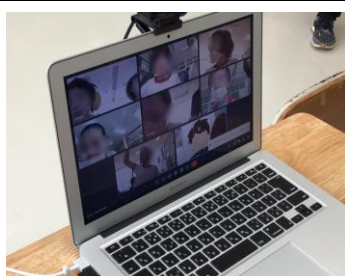


1 活動名**合同遊び（リモート）****2 対象**

- ・小学部全学年児童

3 内容と取組の様子

- ・学習室のMacbookと各教室のiPadをリモートで接続し、合同遊びを行った。
- ・学習室から出欠確認をし、全員がリモート経由でやり取りをする時間を設けた。次に、学習室から児童を1～2名ずつ指名して学習室に呼んだ上で、大型福笑いを行った。リモート経由であっても学習室に呼ばれていることを理解し、一人で移動できる児童もいた。どの児童も、画面に映る友達の様子に興味を持ち、画面をよく見たり、呼び掛けに反応したりすることができた。



自分たちの教室と学習室をつなげて、お友達とリモートでお話や遊びをしました。

4 使用したツール(システム・アプリ・ソフト・教材等)

- | | |
|--------------|------------------------|
| ・学習用パソコン | ・Google Classroom（アプリ） |
| ・iPadのカメラアプリ | ・Google Meet（アプリ） |
| ・Macbook | ・Webカメラ |

5 おすすめポイント

- ・普段よく接している友達が画面に現れることで、興味が高まる。
- ・教室間を移動して活動することで、リモートの世界と現実の生活の場を結び付けて捉えられる。
- ・同じ場所にいない人と同じ活動を共有できる楽しさを味わうことができる。

6 さらに工夫したいこと

- ・近接した教室で複数台のiPadでリモート接続すると、ハウリングが発生する。iPadのマイクをオフにすることで対応できるが、リアルタイムでの相互交渉するためには、逐次のマイク操作は現実的ではない。全機のマイクをオンにしたままでもハウリングを起こさないようなセッティングの工夫が必要。
- ・今回は学部内だけの活動だったので、他学部や、他校の小学部との接続を行えるよう、活動内容や接続環境の工夫を行いたい。